

つなぐ

つながる、伝える、
モノづくり応援マガジン

TSUNAGU
VOL.5

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

2021年：JIPM設立40周年、TPM提唱50周年



巻頭インタビュー

自主保全士検定を全社展開。
株式会社ジェイテクトの支援活動と成果を
安形哲夫取締役社長に聞く。

自主保全士優秀者表彰式、
名古屋で開催

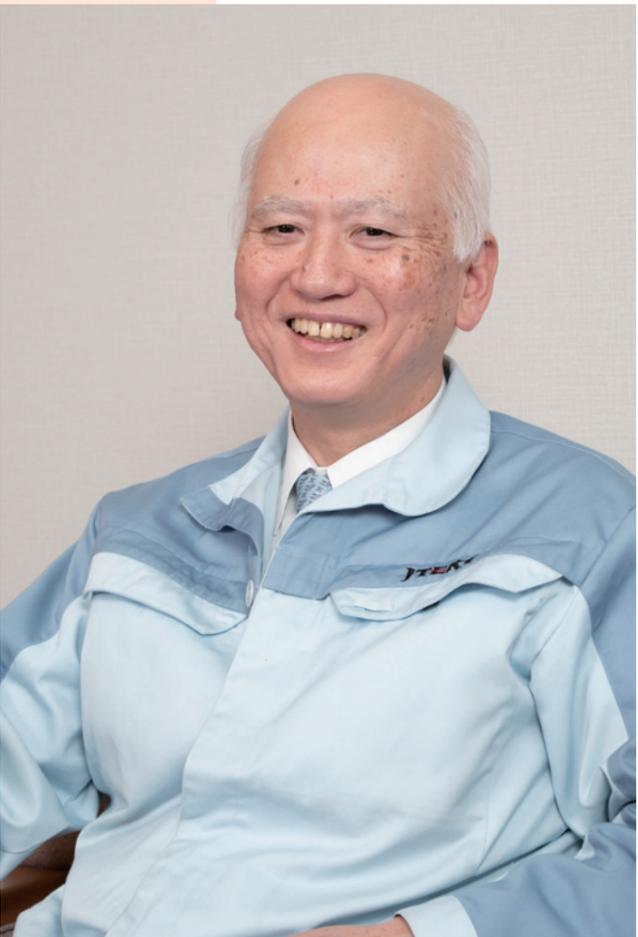
2020年 自主保全士優秀者表彰式 基調講演
「モノづくりは、人づくり～技能伝承と人材育成～」

“付加価値の源泉は人の能力にあり”

巻頭インタビュー

自主保全士検定を全社展開。 株式会社ジェイテクトの 支援活動と成果を 安形哲夫取締役社長に聞く。

2006年、光洋精工と豊田工機が合併して、ジェイテクトは誕生した。2013年からジェイテクトを率いてきた安形哲夫取締役社長が、就任2年目から力を入れてきたのが、社員の自主保全士の資格取得だ。この資格によって会社の何を変えていきたいのか、目指す先を聞いた。



株式会社ジェイテクト
取締役社長
安形哲夫氏
あがた・てつお ◆1953年生まれ。一橋大学を卒業し、76年、トヨタ自動車工業株式会社(現・トヨタ自動車)に入社。2008年に専務取締役、11年に株式会社豊田自動織機取締役副社長に就任。2013年より現職。

「『当社のグラインダーは安くても700万円以上します。ですから小規模な会社は大変な決意で購入されています。なので、どちらのお客さまも優れた『保全』をされていて、60年前の機械でも現役なんですね。それを見た時です。社員の一人ひとりが保全に関心を持つことで、初めて優れた製造現場になる。そんな思いを強くしました」

興味を抱かせるには、「基礎知識」が必要だ。そのきっかけとして採用したのが『自主保全士検定』だった。2015年から生産に携わる社員に向けて受験を推奨。対象となる4000人超の社員のうち、わずかに4年で1600人以上の社員が資格を取得

した。2020年は、社内20000人の有資格者を目指しているという。

検定受験にはもうひとつの目的もある。有資格者を増やすことで、全社で共通の言語と認識を持てるようにすること。二つの企業が合併して誕生したジェイテクトにとって、これは大変重要なテーマ。製造現場が全国に展開している場合、現場ごとに異なる用語ができ、意思伝達をスムーズに行えないこともある。それを『自主保全士』という共通言語で解決しようと図った。

世界と勝負できる 人材を育てるために

「機械が止まったら、自分たちで原因を探り、保全し、可動率や直行率を上げていく。こうした設備の維持、改善に積極的に取り組む企業姿勢を育てたい」と安形氏。そのためにはグループリーダークラスの人々が率先して研究し、理解し、部下を牽引していく必要があると考える。またこうした活動と並行して、生産ラインの人員の入れ替えも積極的に行った。結果、2018年あたりから現場に確実な変化が見えてきた。

ここで重要なのは、若いうちから意識を持つこと。そこでジェイテクトは企業内訓練校「ジェイテクト高等学園」を設立し、そこで知識と技能を習得させる。その1年

ジェイテクトが自主保全士の資格取得に積極的に取り組む理由に、「かっこいい自動化の推進」を挙げた取締役社長の安形哲夫氏。「分かりやすく言えば、丸投げをさせないことです」と言葉を続ける。

「製造工程を自動化しようとする、多くの現場に共通しがちなのが、業者への丸投げ。そしてそういった高い買い物をして、いったん故障すると自分たちでは修理できない状況があったりするものです」

そんな状態が続くとしたら、日本の確かなものづくりを継承することはできないと懸念した安形氏。解決の近道は現場力を上

目のカリキュラムに自主保全士2級の取得が組み込まれている。「現場に入る前からテラシーを上げておきたいので」と安形氏は語る。さらには、少子高齢化問題にも目を配らせる。「労働人口が減少していくなかで生産を維持していくためには自動化化が必要ありません。他人任せにしない、自分たちでつくり上げる、かっこいい自動化は必須です」

自ら保全し、改造し、改善し、ときにはからくり改善の発想で問題を解決できる、マルチスキルを有したオールラウンダーを育てたいと考える安形氏。そうした人材が「かっこいい自動化」には不可欠だ。「中国をはじめ、東南アジアの製造現場はハングリーです。彼らと戦っていくには、同じ競争力を持たなくては」「付加価値の源泉は人の能力にある」と語る。その武器が『自主保全士』や「機械保全技能士」だと締めくくった。



右/ジェイテクトの国分工場(大阪府柏原市)。世界トップクラスの軸受(ベアリング)製造技術を誇る。左/ジェイテクトの奈良工場(奈良県橿原市)。自動車のステアリングを製造する。この二つの分野に加え、同社には工作機械・メカトロニクス分野があり、自動車部品から建設機械、航空宇宙など幅広い領域で社会に貢献する。

【株式会社ジェイテクト 概要】
事業内容：ステアリングシステム、軸受、駆動部品、工作機械、電子制御機器等の製造・販売
資本金(2019年3月期)：456億円
売上高(2019年3月期)：連結：15,208億円、単独：6,699億円
従業員数(2019年3月期)：連結：49,693名、単独：11,914名
ホームページ：https://www.jtekt.co.jp



ジェイテクトが新入社員に基礎知識、技能を習得させるために設立した企業内訓練校「ジェイテクト高等学園」。



アイン機工株式会社
橋本雄吾さん

1. 業務に非常に活かせる内容であり、社内においても受験が促進されている。2. 社内での勉強会と公式テキスト。3. 素晴らしい式典に出席することが出来、とても光栄です。基調講演を聞くことができ、「心」の大切さを改めて感じました。今後の業務に活かせるように、日々目標を持ち進んでいきます。



産業振興株式会社
上谷 誉さん

1. 会社の研修の一貫として。2. 研修の中で自社の講師を中心に行い、自分でも試験対策を十分に行った。3. 会社初となったので嬉しく、これから仕事に活かしていきます。



株式会社SUBARU
能口慎ノ介さん

1. 自己啓発と職能向上のために受験しました。2. テキストと問題集を繰り返し勉強しました。3. このような賞をいただき、ありがとうございます。日々の職務に活かせるように努力を続けます。



ダイハツ工業株式会社
西川一志さん

1. 仕事をする上で設備の事をもっと知りたい、レベルアップしたいと思ったからです。2. 1級試験は前回落ちたので、今回の受験では、1、2か月前から少しずつ勉強しました。3. 今回の1級試験は絶対受かるようにとがんばった結果、このような賞をいただく事ができ、自分自身が一番驚いています。試験に向けて協力してくれた方に本当に感謝しています。ありがとうございました。

自主保全士検定 1級

2019年度の
自主保全士検定1級合格者は21人。
表彰式に出席された方々から
一部、コメントをご紹介します。



ケーブルテクニカ株式会社
小原利友さん

1. 会社の意向により。2. 早めに勉強を始めた。3. 今回の勉強を通じて生産・保全に役立つ知識を身に付ける事ができたと思います。この知識を会社内で共有できる様にしたいと思います。



株式会社ジェイテクト
米田将哉さん

1. 会社として特に力を入れている今後に必要な試験のひとつであるため。2. 勉強の質を意識し、ただやみくもに覚えるのではなく意味をしっかりと理解することにしました。3. 受賞して終わりではなく、仕事に活かしていきます。本日はありがとうございました。



大同特殊鋼株式会社
浅原 徹さん

1. 上司に誘われて。2. テキストや問題集を読んで、理解しづらいところはインターネットで調べて覚えた。3. 検定で得た知識を仕事に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。



写真前列中央/河合 満氏 トヨタ自動車株式会社副社長・JIPM 資格認定委員会委員長
中央右/垣見吉彦氏 サントリープロダクツ株式会社顧問・JIPM 資格認定委員会委員 中央左/鈴置 智 JIPM 専務理事

自主保全士優秀者表彰式、 名古屋で開催

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 (JIPM) では、
製造オペレーターに求められる知識と技能について、
製造部門が受け持つ保全の一部の機能や管理技術を客観的に評価するための尺度を定め、
「検定試験」および「通信教育」を通じて「自主保全士」を認定している。
去る2月、2019年度「検定試験」の優秀者を称える表彰式が、
名古屋東急ホテル(名古屋市)で開催された。本年度は自主保全士検定1級合格者が21人、
自主保全士検定2級合格者が49人、そして団体表彰で3企業が表彰された。
ここでは、式に出席された優秀者の方々に聞いた喜びの声をご紹介します。

※コメントの内容

1. 受験したきっかけは。
2. 合格に向けた取り組み方について。
3. 喜びの声を聞かせてください。

自主保全士検定 2級

2019年度の
自主保全士検定2級合格者は49人。
表彰式に出席された方々から
一部、コメントをご紹介します。

サントリービール株式会社
福田晴菜さん



1. 業務としてTPM 活動を実施することになり、きちんと勉強して活かしたいと思ったから。2. テキスト、問題集を購入し読み込む。3. TPM の知識がきちんと身につけていると感じ、非常に嬉しかったです。テキストは今後も業務に活用しようと思います。

株式会社コイケ
山本辰明さん



1. 会社の昨年度よりの取り組みで設備保全について学びました。受講者全員2級の合格を目指して受験しました。2. テキストを中心に、休みの日は図書館に通い、勉強をしました。3. 今まででは機械は壊れたら直す、という考えでしたが、この度の勉強により、壊れない仕組み、取り組みを行い、装置全体の稼働率も大幅に上昇しました。

栄研化学株式会社
鈴木貴也さん



1. 会社で自主保全士の資格取得を推奨していたから。2. 教科書を読み込み、あとは過去問をひたすら解いて分からない問題が解けるように学んだ。3. 今回、このような名誉ある式に参加させていただき、大変嬉しく思います。1級も合格出来るように頑張ります。

石塚硝子株式会社
大北直幸さん



1. 上司のすすめ。2. 毎日コツコツ勉強。とりあえず暗記。

真和工業株式会社
前田将生さん



1. 保全という仕事はなかなか数値に表しにくいのが、試験があるのでひとつの指標として受けてみようと思いました。2. 保全是業務でもあり、得意分野ではあったが、毎日決めた時間、合格に向けて勉強しました。3. 日頃の業務の努力を成績優秀という形で表彰していただき、誠に光栄です。

昭和電工株式会社
渋谷勇飛さん



1. 弊社では必須の資格となっているため、受験しました。2. 自主保全士テキストと過去問を繰り返し勉強。出題の傾向をつかみ合格へ導きました。3. 今回は2回目の受験で1回目の時に悔しい思いをしたので、このような賞をいただくことができ大変嬉しく思います。

ダイハツ工業株式会社
内野佳智さん



1. 上司の薦めもあり、知識を増やし、現場でもっと活躍出来るようにと受験しました。2. 前回の合格者の講習を受けるとともに、参考書を用い過去問題に取り組みました。3. 今回受賞した事は大変うれしく思います。これで満足せずに次回は1級を受験し成績優秀者を受賞出来るよう頑張っていきたいです。

住友電気工業株式会社
若松航大さん



1. 会社の業務を行う上で基礎中の基礎となる知識であり、大切な検定試験であったため、受験致しました。2. 会社への通勤中や業務後の時間を使い、何度も問題を解いて反復的に勉強しました。3. 今回はこのような賞を頂き、大変嬉しく思います。これからの業務に今回の検定で得た知識をしっかりと活かしていきたいと思っております。ありがとうございます。



2級



自主保全士優秀者表彰式には、平日にもかかわらず全国から多くの優秀者が参列した。



トヨタ自動車北海道株式会社
下野裕修さん



1. 自分がどれだけやれるか挑戦したくなった。自分には知識が足りなかったため。職場の先輩が誘ってくれたため。2. 平日は6時間、休日は8～10時間程勉強しました。3. 私に「試験と一緒に受けないか」と誘ってくれた先輩、過去のテキストをコピーしてくれた心遣い等、思いやりある先輩方のおかげで、一生懸命取り組むことができました。今まで私に教えてくださった皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

トヨタ自動車株式会社
松尾颯馬さん



1. 仕事で様々な種類の設備を扱う中で、保全についての知識を身に付けレベルを上げたいと思い受験しました。2. テキストの読み込み。問題集をやり込む。3. 表彰を受けるにあたり、今後もこの成績に見合った保全を実施し仕事に取り組みたいです。

株式会社日立システムズ
的場弘至さん



1. 会社の方針で、取得推奨資格だったので受験しました。2. まずテキストを理解できるまで読み込み、過去5年分の過去問を解き、間違った所は復習していました。3. 立派な式を開催していただきありがとうございます。会社の方針として保守に力を入れていくということで勉強してきましたが、工場のお客様がどのようにしていきたいのか考えるのに役立ちそうです。今後の業務に活かしていきます。

万能工業株式会社
田中克征さん



1. 保全として様々な資格を取ろうと思っていたところ、上司に「こういう資格があるからやってみないか」との一言で受験しようと思いました。2. 今、自分が持っている知識だけではとてもじゃないが受からないと思い、とにかく勉強しました。結果、合格することが出来て良かったです。3. まさか自分が選ばれると思っていなかったのが嬉しく思います。自主保全で得た知識を活かしてこれから先も仕事をしたいと思っています。

ナブテスコ株式会社
松原正樹さん



1. 会社がTPM活動に力を入れていて、機会があったので受験しました。2. 会社の勉強会と自分で参考書を買って勉強しました。あまり詰め込まず、勉強時間は土日30分くらいでした。3. 本当に嬉しく思います。まさかという感じです。

ナブテスコ株式会社
藤田隆章さん



1. 2018年11月にTPM指導会が始まり、事務局を担当したことから。2. 自主保全士受験者を多数集める活動と、受験者全員が合格できる事務局活動。3. 素晴らしい会場で授賞式をして頂き感謝しています。

富士ゼロックス
マニュファクチャリング株式会社
田中健太郎さん



1. 生産準備をメインに業務を行っているが、保全しやすい生産ライン/工程設計に必要な基礎知識を学ぶために受験。2. テキストをベースに自分の現場と関連させながら、知識を習得。3. 現場に自主保全が根付くような工程設計を行い、現場と共に自主保全の実践をしていきたい。

株式会社フェローテックセラミックス
竹岡則和さん



1. 会社において推奨度の高い検定試験となっており、上司の指示で受験しました。2. 製造現場勤務なので、実際の設備との関わりあいの中で、学べた事と過去の問題をしっかりとやりました。3. がんばった事が評価されて、とても嬉しいです。今後社内でも受験者がいますので、がんばるように伝えたいです。



自主保全士優秀者表彰式が催された、名古屋東急ホテル（名古屋市）。

団体表彰

2019年度の自主保全士検定 団体表彰された企業は全3社。
右はそのうち2団体の代表者。



サントリービール株式会社
代表者 多田信雄さん



ナブテスコ株式会社
代表者 富田雅彦さん

1. TPM の知識をより一層深めるため。2. 過去問題を繰り返しやる。教科書を2～3回読んで重要な箇所にマーキングする。3. 3週間、一生懸命に勉強した事が、結果につながったので嬉しいです。

1. 会社の先輩で受験した方がいたので知っていた。会社から受験の案内ももらったので、挑戦しようと思った。2. 仕事の休憩時間や、休日などにコツコツと勉強を積み重ねた。3. 努力してコツコツと勉強した成果が出て良かったです。得た知識をただそのままにするのではなく、実際の仕事に活かしていきたいように今後も努力していきたいです。

1. 自身のオペレーターとしての成長を図って。2. 受験者全員参加の勉強会の実施。3. 努力が実ってとても嬉しく思います。学んだ事を職場での業務で活用すると共に、後進の育成に努めたいと思います。

1. 2018 年末より、TPM 活動をスタートさせた。活動推進のトップとして TPM 活動の理解を深めるため。2. 資格取得者が講師となり、勉強会を開催。3. 思いもよらぬ受賞に驚いています。TPM 活動推進のトップとしての面目が立ちました。

1. 職場で使用している設備が老朽化しており、対応に苦慮していたため受験しました。2. とにかくテキストを繰り返し勉強しました。3. これを励みにさらなる上級資格取得も視野に入れてがんばっていききたいと思います。

1. きっかけは上長からの薦めでした。私は製造での業務経験がなく、QC 的な考え方や保全の観点を養うために受験しました。2. 保全の知識がほぼゼロの状態から、講習を受け、過去問題を何度も解いて学習しました。3. 自分が努力した結果を、こうして表彰して頂けて、とても嬉しいです。今回私が受けたのは2級ですので、次回1級に挑戦した時に、またこの場に來られるよう、努力をしていきたいです。

そのほか、寄せられた声

1. 会社で TPM 推進の事務局担当となり、自主保全士検定の推進を行う立場になりました。自分の知識を確認するためにも受験いたしました。2. テキスト・問題集を繰り返し読んで勉強しました。3. この様な素晴らしい受賞の場に呼んでいただけて大変嬉しく思います。

1. 仕事に役立ちそうと思いました。2. テキストを活用した勉強。3. このたびは表彰式ありがとうございました。資格を仕事に活かしたいと思います。

1. 職場のメンバーの見本になれるよう率先して受験することを決意しました。2. 受験を決めた6月より、テキストや問題集を集めてすぐに勉強に取りかかった。また、自職場の設備にも積極的に関わるよう意識を変えた。3. どんな問題が出て必ず合格する事を決意して取り組んだおかげで、このような素晴らしい結果を残す事が出来ました。改めて学ぶ事の楽しさを実感する事ができてよかったです。

1. 職場で受験を推進しており、自身のスキルアップと考え今回受験しました。2. 会社・事業所ごとに勉強会の開催と研修の実施。3. 今回の表彰式をきっかけに今後受験を考えている後輩たちのモチベーションアップにつながってくれば嬉しく思います。

1. 職場の取り組みの一環として。2. 公式テキストの読み込みと過去問題の実施。3. 優秀と言われる成績を残すことが出来、大変光栄に思います。学んだ事を職場での仕事に活かしたいと思います。

自主保全士検定 2級

ユービ株式会社
歳兼幸宏さん



1. 保全の基礎を知るために受験してほしいと上司から指示があったので受けました。2. 仕事終わりにテキストや問題を30分～1時間取り組みました。3. 上位を狙って勉強していましたが、まさか自分が該当しているとは思わなかったのが嬉しかったです。学んだ事を仕事に活かしていきます。

マルサンア株式会社
尾崎文昭さん



1. 会社で TPM 活動を行っている中で、色々疑問に思う事があったので、自分で勉強して少しでも TPM 活動に貢献したいと思い、受験しました。また、チームリーダーとして部下の育成も視野に入れ受験しました。2. テキストを読んで、問題集をやり、間違えたところや分からなかった事は書き出して調べる。3. まさか自分がこの様な式に参列できるとは思っていませんでしたので、参列した事により更にもっと上を目指そうと向上心が出ました。自分が学んだ事を部下、若手、次世代の方までしっかり教えていけるような仕組みづくりを目指していきたいです。まずは人の意識改善から行っていこうと思います。



2020年 自主保全士優秀者表彰式 基調講演

「モノづくりは、人づくり、技能伝承と人材育成」

自主保全士優秀者表彰式では、表彰式に続いてトヨタ自動車の副社長であり、日本プラントメンテナンス協会副会長・資格認定委員会委員長を兼任する河合満氏の基調講演が行われた。表彰者への励ましや期待をはじめ、自動車業界を取り巻く環境、ムダを省いたラインづくりについて、経験に基づいた興味深いエピソードが述べられた。

河合 満氏
トヨタ自動車株式会社 副社長（講演時役職）
公益社団法人
日本プラントメンテナンス協会 副会長



表彰式に続いて基調講演を実施。「それぞれの会社で、憧れの先輩になってもらいたい」と河合氏は受賞者の方々にエールを贈った。

15歳でトヨタ技能者養成所に入所し、1966年にトヨタ自動車工業の鍛造部に所属してから自動車製造の第一線を歩んできた河合満氏。現在も鍛造工場にも席を設けて、現場の仕事に向かい合う。その理由は「匂い、音、空気を味わっておかないと勤が鈍るから」。入社した当時は「年間生産台数30万台程度の小さな会社だった」と述べ懐する河合氏。これまで幾度となく難関にぶつかったが、今は「1000年に一度の大変革期」だと語る。

種の参入もあり、それぞれとつものないスピードで進歩しています。わが社も何兆円と投じて技術開発を行っていますが、いつ回収できるのかも分かりません。しかし、乗り遅れるわけにはいきません。こういう時こそ問われるのが、いかに効率よく設備稼働させられるか。自主保全士としての腕の見せどころです」

ラインは1時間止まれば、多大な損失につながる。高い稼働率を維持するためにも、自主保全士の存在は重要であり「君たちが鍵を握る」と表彰式を受賞者を励ます。

トヨタには『トヨタ生産方式』という生

産ラインのムダを徹底排除する方法論がある。河合氏はこの方式に則り、ある工程を分析したところ、34工程のうち22工程がワークを移動させるのみで、付加価値を生まないものだと分かった。そこでシンプルでスリム、コンパクトなラインを目指すべく、試行錯誤を重ねながら22工程を省くことに取り組み、付加価値を生むラインを完成させた。とはいえムダがないということは、余裕もないということ。各工程の精度を高く維持できなければ、ラインは成立しない。そこで参考にしたのが保全の知見だった。

「自主保全によって
ラインの質は向上する」

「わが社が急成長している時期、毎年のように大きな工場を国内外に建てていました。それに伴って優秀な技術者が海外に出てしまい、現場で知恵を活かせる機会が減ってしまいました。そんな状況で造られたラインは、量をこなすだけのものではなく、そこを襲ったのがリーマンショック。結果、使えないラインだけが大量に残りました」

しかも設備は複雑で、故障すると社内では対応が難しいこともあった。そのため機械が止まることを想定して、大量の部品を作り置きするような悪循環が起きたという。「目指す故障ポイントにたどり着くために、手前の機械をすべてバラしたケースもありました。そこで痛感したのは、ラインはもつと手作業で造り込むべきだったという事です。手作業を基本にすると工程は自然とシンプルになり、フレキシブルになります。またシンプルゆえに安価にでき、不良が出にくい設備になるのです」

手作業のラインこそ、技能の原点だ。そして、それがベースにあるからこそ、初めて自動化することができることも語る。「自動化は、人間の技術をロボットが真似

することから始まります。自動化の向上は、人の技術がなければできませんから、人は常に技術を磨き続けなければなりません。自動化の進化は、人の進化なしに語ることはできません。技能と技術のスパイラルアップがあって、優れた自動化が完成するのです」

「たどり着く改善の発想もまた、ラインづくりに不可欠なものだと河合氏。自分たちでアイデアを出して考える、自分たちでつくる。その一方で、自主保全士にはラインに対して、意見を具申する責任があるとも。たとえば『機械のこの方向にネジがついていると整備がしやすい』といった情報は、いざ機械が停止したときに作業時間の短縮に直結します。これからは直すだけで満足せず、どんどんアイデアを出せる、もの言う自主保全士」

河合氏は強いモノづくり集団になるために、専門性と人間性を兼ね備えた人になってもらいたいと助言する。そして「専門性と人間性を育てるには、信頼関係に立脚したコミュニケーションが大切」と続けた。「少し上の課題に向き合うことで、人は成長していきます。人を良くすることこそ、会社の成長になる。つくるモノは変わっても、モノをつくる姿勢は変わりません。社会人として、自主保全士として、カッコいい後姿を見せられる人になってほしいですね」

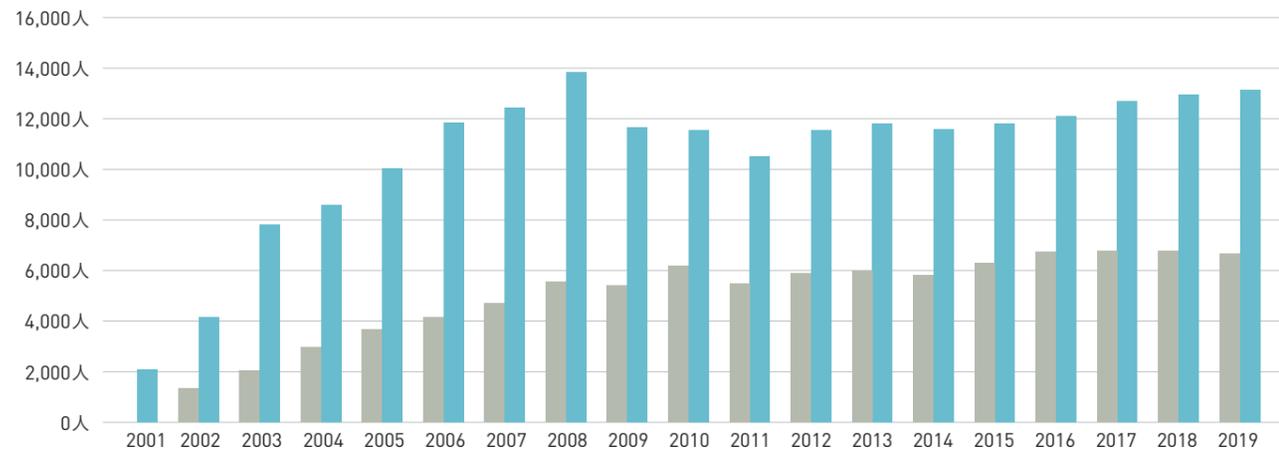
かわい・みつる ◆ 1948年生まれ。'66年、トヨタ技能者養成所を卒業し、トヨタ自動車工業株式会社に入社。本社工場鍛造部長、本社工場副工場長、技監を経て、2015年専務役員に就任。17年より副社長に就任し、現在は工場統括、総務・人事本部長を担当。16年6月より公益社団法人日本プラントメンテナンス協会副会長に就任。



※ CASE とは、自動車産業に大変革をもたらすとされるキーワード。Connected (つながる)、Autonomous (自立走行)、Shared (共有)、Electric (電動) の頭文字から命名。

生産現場のオペレーターを育成してきた 幅広い製造業への活用実績とスケール

19年間の実績・約30万人の利用者



■ 1級 ■ 2級 図1 級別利用者の推移 (検定試験、通信教育の合計) 参考: 自主保全士検定試験申込みデータ

検定試験: 23万人、通信教育: 7万人の信頼ある利用実績

幅広い製造業の現場で活用

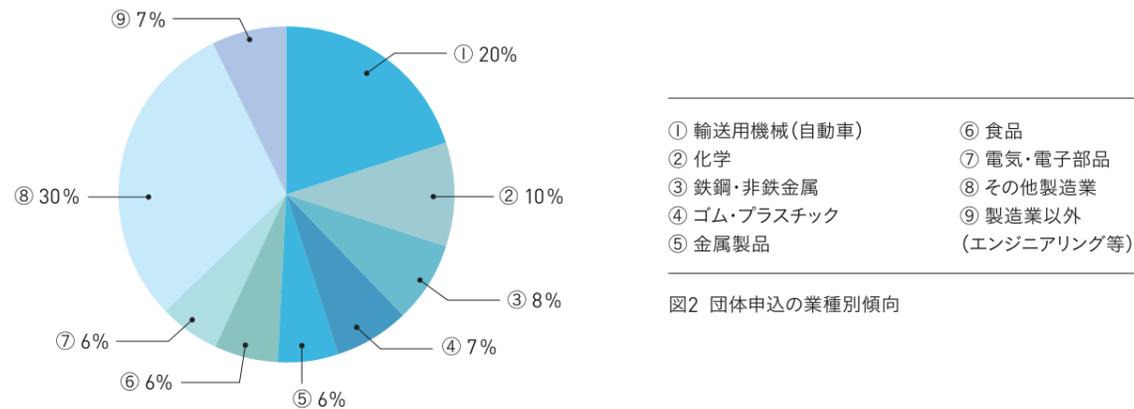


図2 団体申込の業種別傾向

ライフスタイルに合わせて選べる取得方法



年イチで短期間に取得
検定試験

毎年1.4万人が受験

育成・現状レベルの
客観的評価に



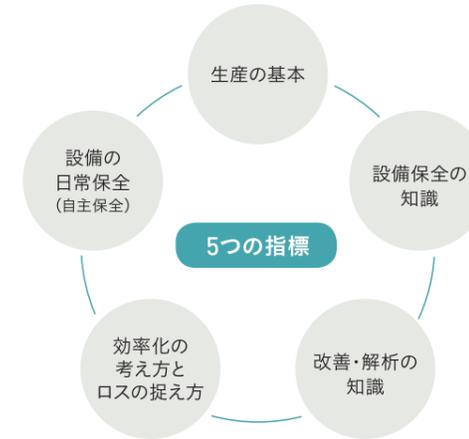
いつでもじっくり受講
通信教育 + 認定試験

毎年5千人が受講

学びながら、
レベルUP

「自主保全士認定制度」の3つのポイント

① 自主保全士認定制度とは?



製造オペレーターに求められる知識と技能に関して、製造部門が受け持つ保全の一部の機能や管理技術を客観的に評価するため、5つの指標で認定。検定試験および通信教育を通じて、『自主保全士』を認定し、「設備に強いオペレーター」の育成・普及を目指しています。

級	想定される役割と求められる能力
1級	職場チーム(小集団)における中心的、リーダー的な存在となり、自主保全を展開する上での計画・立案と実践指導ができる
2級	製造(生産)に関わる部門の一員として、自身の業務に従事しながら、自らが関わる設備や工程・作業について自主保全を実践できる

② 自主保全士取得により期待できる効果

第三者による
公平な評価



企業の
競争力強化



オペレーターの
レベルアップ



オペレーターと
他部門の共通言語



③ 自主保全士の取得方法

自主保全士の取得には、2つの方法があります

区分	検定試験	区分	通信教育
名称	自主保全士検定試験		自主保全士コース(通信教育)
級	1級 2級	級	1級 2級
受験資格	実務経験4年以上 実務経験不要	受講資格	実務経験4年以上 実務経験不要
試験の形式	学科	正誤判定式 100問	
	実技	多肢選択式と記述式併用 計10課題程度	多肢選択式 10課題程度
	備考	学科試験+実技試験: 120分	
申請期間と試験日	申請期間: 毎年7月中旬~8月下旬 試験日: 毎年10月中旬の日曜日		申請期間: 随時受付中 開講日: 毎月12日締めめの翌月開講
	認定基準	▶ 学科試験75点以上かつ 実技試験75点以上	
認定基準	▶ 在籍期間(8ヵ月)内に5単位すべてのレポートを提出し、全単位を修了 ▶ 修了後に、認定試験を所定の期限までに提出し、採点結果が合格基準以上		

第20回 (2020年度)

自主保全士 検定試験

～設備に強いオペレーター～



試験日

10月25日(日)

受験申込み期間

7月6日(月)～
8月21日(金)17:00まで

詳しくは、自主保全士公式サイトへ!

<https://www.jishuhozenshi.jp/>

自主保全士

検索



つなぐ 2020年5月20日発行

発行・編集 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-3 神保町 SFⅢビル5階 TEL. 03-6865-6081

文 小泉庸子
撮影 甲木 聡
デザイン 高井真由美